

7.4 全日総決起集会

夏休み策動紛砕!!

より強固な、より広範な民主的学生の代表として前進してきた、全学共闘会議による、全日総決起集会が、7月4日、午後3時30分から、経済学部前に於いて、行われることになった。今回の日大民主化運動の起算ともいわれるべき経済学部前で行われる全日的統一行動は、現在の、日大における、問題の本質を考えたならば、この上なく意義のあることであると、全学友が、自確しなければならぬ。

経済学部を端を発した運動が、ここにおいて、10学部の結果をみたという事実は、学園民主化運動の急速な進展と、学生の自治意識がいかほど高いかを、如実に示している。しかしながら、斗急における最も孤れるべき敵は、内部分裂である。我々は、今各々自確を持ちながらも、全日総決起集会に、結集し、全学生の団結の力を再確認すべきである。全日総決起集会に、結集するということは、斗争を、全日大的に、より強固に、より広範囲に進めてゆくためにも、絶体必要なことである。理エ系の学生が、立ち上った学園運動は、勝利するといわれている。しかし我々の運動は、独立採算制の強化などという、分裂策動にも似た、非常に不明確な解答を、満足すべきものではない。また、理エ学部の機構のみが、改善されればよいというものでもないということを、理エ学部全学友が再確認する必要がある。

この運動は、決して甘いものではない、しかし夜明けは近いということを確認して、7.4総決起集会に、結集しなければならぬ。

日本大学理エ学部一部自治会